

専大スポーツ

【専大スポーツ】
[専大スポーツ編集部Web] <https://sensupo.com/>

No. 401



フェンシング U23アジア選手権

金メダル



女子エペ
成田

10月21日から29日まで、タイ・バンコクでフェンシングのU23アジア選手権が行われ、女子エペで成田琉夏(文1・聖霊女子短大付属高)が見事金メダルを獲得した。

次なる目標は ジュニアW杯

成田はトーナメントを順当に勝ち上がり、準決勝では日本人選手を破った。決勝でも盤石なプレーでポイントを奪い勝利。優勝の瞬間はガッツポーズで喜びを表した。成田はメダルを取ることとを目標にしていたのでうれしと笑顔で話し、「この結果に満足せず、より大きな大会で成績を残せる選手になりたい」と意気込む。

アジアでの戦いに備え、トレーニングに工夫を凝らした。「小手回りをしっかりと突けるように練習した。また、プール戦(5本先取の予選リーグ)を意識し、5本勝負で必ず勝てるように新しい技をいろいろ試した。勝ちにこだわって実践練習に取り組んだのが勝因だ」と語った。



盤石なプレーで優勝した成田(右)

72kg級 前田が連覇

全日本大学レスリンググレイコローマン選手権10月17、18日、世田谷区・駒沢体育館

グレコローマンスタイルの大学生王者を決める大会で、前田明都(経営3・花咲徳栄高)が72kg級で連覇を果たした。前田は「動きが悪いところもあったが、グラウンド(寝技)の調子が良かった」と語った。

意地の3位

東都大学野球秋季リーグ戦(2部)第7週10月23、24、30日、上尾市民球場

田は「緩急を織り交ぜた投球ができた」と話すように、ストリートと鋭く落ちるフォークボールで5回を無安打に抑えた。この結果2勝1敗で勝ち点を獲得。6勝6敗・勝ち点3の3位となった。



入り、同じくジュニアワールドカップ競技会の日本代表に選出された。森重は「初の国際大会なので、雰囲気のみ込まれないよう自分の力を出し切りたい」と気合を入れた。(高田康平・経営3)



安定したフォームでコーナーを抜ける堀川

ジュニア3000m 堀川自己ベストV

全日本スピードスケート距離別選手権10月25、27日、青森県・YSアリーナ八戸

ジュニアの部3000mに出場した堀川翼(経1・白樺学園高)が自己ベストを更新する3分49秒53で優勝。11月にノルウェー、オランダで行われるジュニアワールドカップ競技会の日本代表に選出された。

△卓球部
及川瑞基(商4・青森山田高) ITTFワールドツアー・オーストリアオープン(11月12、17日、オーストリア・リンツ)

女子全種目 高萩が制覇

東日本ローラースケートスピード選手権

10月20日、文京区・東京ドームローラースケートアリーナ

高萩は、女子の全種目を制した。各種目のタイムは▽3000m11分38秒85、▽1500m11分36秒44、▽3000m10分00秒、全日本学生選手権(500m、1000m)と笑顔で語った。

生選手権(3000m)と、各大会で結果を残してきた高萩。「全種目で優勝することができて良かった。次の試合に向けて、さらに練習を頑張りたい」と笑顔で語った。

最終カードの青学大戦は1勝1敗で迎えた第3戦、金城乃亜(商4・糸満高)、前田敬太(商4・中部商高)、佐藤奨真(経3・関東第一高)のリーグで完封し2-0。前

田は「緩急を織り交ぜた投球ができた」と話すように、ストリートと鋭く落ちるフォークボールで5回を無安打に抑えた。この結果2勝1敗で勝ち点を獲得。6勝6敗・勝ち点3の3位となった。